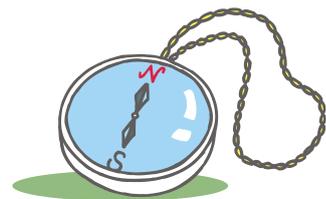


# 羅 針 盤



第 **38** 号

令和5年（2023年）3月24日（金）

## ◆ 「レジリエンス」

今年度の卒業式で、第76期生の皆さんに「レジリエンス」という言葉を贈りました。「レジリエンス」それは、多くのストレスを抱えもっている時でも、機能を保ち続けて、逆境を克服すること、「困難な状況から回復する能力、あるいは、立ち直る力」を意味する言葉です。この言葉は、2021年9月に世界初の民間人のみによる宇宙旅行で使われた宇宙船「クルードラゴン」に付けられた名前です。名付けたのは宇宙飛行士の野口聡一さん。宇宙飛行士として活躍されてきた野口さんも宇宙船に名前を付けたのは初めてのことで、「世界中が新型コロナウイルス感染症の拡大でたいへんな状況にある。宇宙飛行士たちも大きな影響を受けたが、それ以上に世界中の医療関係者、運送業、生活の根幹を支えるエッセンシャルワーカー（人々のライフラインを支えるために働く人たち）のご尽力に心から感謝の意を表します。このような困難な状況の中においても、お互いに協力し合って、元の状況に戻していく力とならないか、というのが我々の想いです。」と宇宙船「レジリエンス号」に込めた願いを語られました。「失敗から立ち直る力」、「回復する力」を是非とも生徒の皆さんには身につけてほしいと思います。そのためには、心に留め置くことが4つあります。一つは、成果がすぐに現れない時に、「自分には才能がなかったからだ」と考えるのではなく、「自分自身の努力が足りなかったからだ」と反省をして、再び立ち上がることです。粘り強く努力を続けた結果として、才能は開花されていくものです。自分自身の持てる可能性を信じて努力を積み重ねてほしいと思います。次に、失敗したことを悩んだり、悔やんだりしないことです。結果自体が変わることはありません。まずやらなければならないことは、次に備えての改善策を模索することです。少しでも早く気持ちを切り替えて、前に進むことが大事なことです。そして3つ目は、家や学校などで叱られた時には、叱ってくれている人の思いを汲み取ることです。あなたたちのこれからの成長を期待しての叱責です。叱られたことで、心が鍛えられ、「折れない心」がつくられていくはずですよ。そして最後に、失敗したときには決して他人のせいにするのではなく、自分自身の課題としてしっかりと受けとめ、自分自身と向き合って考えることが大切なことです。他人のせいにしてしまった瞬間に自分ごとではなくなってしまいます。自分の行動に責任を持つべきは自分自身であることを自覚して、失敗から多くのことを学んでもらいたいと考えます。心折れることなく、諦めることのない進みゆく人であってほしいと願っています。

本日、無事に修了式を終えることができました。明日より、2週間の春休みに入ります。ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、来年度も引き続き、校長室だより・羅針盤を定期的に発行する予定をしています。住吉中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開していく道標となるよう、更なる研鑽を積んで参りますので、変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。（校長 坂井伸治）

